



ECO

エコプレス
エコプレス

8
2018.10



北海道で動物を学ぶ。

学校法人 産業技術学園
ECO 北海道エコ・動物自然専門学校

〒061-1373 北海道恵庭市恵み野西5-10-4

☎ **0120-36-8219**

heco.ac.jp/



● 北海道に住むってどんな感じ？ Q&A

● 僕たちが、北海道に来た理由



北海道に住むってどんな感じ？



北海道に住むって
どんな感じ？
北海道外から来た
学生に
聞きました！

We Like Hokkaido!!

①好きな動物 ②行った観光地 ③北海道で食べたおいしいもの ④北海道の好きなところ ⑤北海道の苦手なところ ⑥北海道の動物といえば？

青森県出身

杉本 祐理さん 1年

青森県立八戸東高校出身

- ①我が家のネコ、ユキヒョウ、ネコ科の動物
- ②円山動物園、函館
- ③ジンギスカン、ザンギ
- ④夏が暑すぎないところ
- ⑤苦手というか牛肉が高いですね…牛肉食べたい…
雪多すぎ
- ⑥クマ、キツネ

茨城県出身

仲見川 花音さん 1年

茨城県立下館第一高校出身

- ①牛、我が家のネコ
- ②これから円山動物園に行きます！
- ③お肉料理、焼きそば弁当のスープに感激
- ④雪がたくさん積もるところ！
- ⑤春、秋、冬がしっかり寒いのに、夏はきちんと暑いところ
- ⑥リス、キツネ

山梨県出身

小野 義斗さん 2年

甲斐清和高校出身

- ①リカオン、カピバラ、イヌ科全般、ヘビ全般
- ②円山動物園
- ③ジンギスカン、
砂糖がついているアメリカンドッグ(道東の文化)
- ④ライブなどで北海道には絶対来るから
チケットさえ取れればすぐに行けちゃうこと
- ⑤寒い、大きすぎ
- ⑥ヒグマ、キツネ、恵庭ならアライグマ

愛媛県出身

山本 瑞樹さん 1年

愛媛県立東温高校出身

- ①プレーリードッグ、肉食動物
- ②円山動物園、旭山動物園、富良野、小樽水族館
- ③海鮮、ラーメン、ジンギスカン
- ④広い(観光地がいっぱい)
- ⑤寒い、広い(移動が長い)
- ⑥リス、キツネ、クマ、フクロウ

杉本 祐理さん

仲見川 花音さん

小野 義斗さん

山本 瑞樹さん



僕たちが、北海道に来た理由。

北海道エコには北海道外から来た在校生がたくさんいます。育った場所はバラバラでも、同じ目標に向かって学んでいる4人にお話を聞きました。



司会
北海道エコ/入学事務局
井戸 あゆみ

まず最初に、北海道エコで学ぼうと思った理由を聞かせてください。

小野:小学生の頃からずっと動物関係の仕事に就きたいと思っていました。本格的に進路について考え始めたのは高2の頃。自立した一人暮らしがしたくて、実家から離れた学校を探していましたが、色々なオープンキャンパスに行った中で一番「行きたい!」と思ったのがエコでした。**動物もたくさんいるし、先輩たちもやさしくしてくれた**ので決めました。

エコのことはどうやって知ったの?

小野:母親から「こどう?」と提案されたのがエコでした。取り寄せたパンフレットを見て「良さそうな学校ね」とも言ってくれました。

仲見川:私も小さい頃からずっと動物関係の仕事に就きたいと思っていました。受験に合格した大学もあったのですが、偶然見つけたエコのオープンキャンパスに行ってみたら、北海道楽しい!となりまして(笑)それに大学よりも実践的に学べそうだなと思って来ちゃいました(笑)



ほっこりした笑顔がみんなを癒す杉本さん。実家で飼っているネコを愛してやまないネコ大好きガールなんですって。

どんなところが楽しかったの?

仲見川:地元じゃ降らない**雪がとにかく楽しかった**です!

小野:僕は1年で飽きました。雪(笑)

杉本:もういいよ!ってなりますよね(笑)

山本:愛媛はぜんぜん積もらないです。

仲見川:なので、私の中では雪の存在が割と大きかったです(笑)

杉本:雪ポイント高い(笑)

仲見川:それとオープンキャンパスに来た時に動物もたくさんいて、先輩たちがこの子はこういう動物なんだよって詳しく説明してくれたこともうれしかったです。

山本:僕は中学・高校と部活に打ち込んでいたのですが、進路を考えたときに小さい頃から動物が好きなのを思い出したのがきっかけですね。夏休み中に色々な学校の資料を請求した中で、やはり学校に動物がいることが魅力的なエコがいいなって思いました。母親に「一人で電車も乗れないんだから都会はやめときなさい」って言われたことも影響したかも(笑)

杉本:段階を踏めと(笑)

山本:そうそう(笑)それとオープンキャンパスに1人で来たときに、動物もいっぱいいるし、**鷹や両生類爬虫類のチームで学べる**こともいいなって思って「もう北海道エコにしよう!」と決めた感じです(笑)

杉本:私はみんなと違って、小さい頃から動物関係に行きたいと考えてなかったんです。でもある日、祖母の家に来た、あまり人に懐かない野良猫が私にずっと寄り寄ってきて、それを見た祖母が「**ゆりちゃんはそういう力があるのかもしれないね**」と言ってきて、そうかもしれない!と思ったのがきっかけです(笑)大学への進学も薦められたんですけど、担任の先生が優しくて「自分が目指しているのは飼育員なので、専門学校のほうがたくさん学べることも多い」と言ったら納得してくれました。それにとっても雰囲気がいいし、みんな和気あいあいと自由にやっていて「ここ、自分に合ってる!」と思いましたね(笑)

実際にエコに来てみる授業はどうですか?

小野:飼育実習は自分たちで意見を出し合いながらできることが楽しいですね。今まで周りに動物のことで話し合える人がいなかったんで、みんなでディスカッションできるのがうれしいです。座学の授業は今までになく**自分が勉強したいって思える内容ばかり!**単純にホルスタインって大きい!とか(笑)山梨では牛を見ることが少なかったんで、そういうことで楽しかったです。それと職場実習中にビーバーの説明をしたのですが、お客様から拍手がもらえたんです!授業中のディスカッションのおかげで、人前で話すことが鍛えられたからなってると思います。

山本:自分がやりたいことなので、わからないことや疑問に思ったことをクラスメイトに聞いたり、**自分で情報を集めたりするようになりました**。中学や高校ではそこまでやらなかったかも(笑)新しい知識を吸収できるので、座学のノートをとるのも楽しいですね。テストに向けての勉強も集中して行っています。

仲見川:最初の飼育実習はとにかく緊張(笑)先輩が「今日はこの動物だよ」と言ってくれたときも動物の名前すら分からなかったんで「本当にできるようになるの?」と思ってました(笑)先輩に教わりながら実習をこなしていくうちに、たくさんの知識が身につきました。

杉本:まだ経験が浅い頃、先輩たちが東京への研修でいないときに「みんなで力をあわせて頑張ろう!」と思った経験も良かったのかなと思います。



「人と話すことが大好き」だという小野くん。2年生ということで、実習のエピソードなど体験に基づいて話ってくれました。

ところで親元を離れての一人暮らしはどう?

杉本・仲見川・山本:寮だからなー(笑)

じゃあ、寮での生活はどんな感じ?

仲見川:ありがたい!ご飯もおいしい!あとは自分が朝ちゃんと起きれるかどうかか問題です(笑)

杉本:地元を離れた感はあるんですけど、友達と部屋も近いし、先輩たちも近くにいるので、心強いです。ぜんぜん一人って感じはしないです。

仲見川:何かあってもすぐ「開けて!」って友達の部屋に行けるので大丈夫っていう安心感があります(笑)

小野くんは一人暮らしだよ?

小野:そうですね。**ペットも飼えるし一人暮らし、オススメです!**最初はとても寂しかったんですけど、すごく仲のいい先輩の家に集合してご飯を食べたり動物の話をしたりしているので、毎日楽しく過ごしています。

実家のありがたさとかはある?

小野:すごくありますよ。こっちに来てからめっちゃお母さんを大切にしてる(笑)母親の偉大さが分かったって言うか。

仲見川:確かに**離れてみて初めてわかる家族のありがたみってある**よね。一人だとしてもちゃんとしくちゃいけないことが、おろそかになる(笑)



お茶目で明るい雰囲気とノリの良さがステキな仲見川さん。最近また北海道の魅力を見つけたそうです。

最後に将来の夢や目標を教えてください!

杉本:動物園にはこだわらず、例えばペットショップとか動物に関わりながら自分も学んでいける場所で働きたいなと思います。牧場やアクアリウム関係もおもしろいと思いますね。**何にでも興味を持てるようになったので、色々なことをこれからも吸収して、自分に合った仕事に進みたいです。**

仲見川:好きな動物は?って聞かれたときに「牛!」って即答するくらい牛が好きなので(笑)動物園よりも牧場で働きたい思いのほうが強いですが、鷹チームに入ってトレーニングなども行うことを考えると、やっぱり動物園などでショーを担当するのもいいかなと思ったり、夢は広がるばかりですね(笑)**場所にはこだわらず、自分がいいな!と思ったところに飛び込んで行きたいです。**

山本:僕は専門学校に入って視野は広がったのですが、今はやっぱり飼育員になりたいです。そういえば、北海道に進路を決めたとき地元の友達に「どうしてそんなに遠い学校へ行くの?」とか「戻って来ないでしょ?」とか言われて。愛媛にある動物園に就職したいと思ってこちらに来たんですけど、遠くに行くっていうことに抵抗がなくなってしまいました(笑)沖縄でも、北海道でも、愛媛でも、場所に縛られる感覚がなくなったので、**動物園自体の環境を見て考えたい**なと思っています。

小野:自分はもともと接客がとても好きなので、お客様がたくさん訪れる動物園での仕事にとっても魅力を感じます。**環境教育や自然保護に関してもしっかり見せられる動物園がいい**なと思いますね。動物園で働くことが自分にとってプラスになるということが実習で分かったんで、今はその実習先への就職を目指しています。お客様目線と飼育員目線では動物園の見え方が全然違って「そんなところまで工夫してるの」と思うことばかり。そんなところを見ていくと、**なおさら動物園で働きたい**なって思っています!

みなさん夢に向かって頑張ってください!今日はありがとうございました!



ゆったりと落ち着いた話し方が印象的な山本くん。「エコの授業は学ぶほどに楽しくなる」と話してくれました。



最初は少し緊張味の4人でしたが、北海道や学校のことについてたくさん話してくれました!

